

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会保障論 I	田中 武士	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>私たちの生活を支えている社会保障の成立過程の理解を土台とした上で、現状と課題を分かりやすく説明し、体系的に社会保障を理解することを目的とする。あわせて社会保障の歴史をふまえ、現行の5つの社会保険のうち、本科目では医療保険、介護保険を中心に講義を通じて日常生活において必要な社会保障の知見を身につけることを目標とする。</p>						
到達目標	<p>①歴史的な視点から現代の社会保障の成立過程を理解することができる。          ②現代における社会保障制度を体系的に理解することができる。          ③社会保障に関わる政策を検討し、それに対する自らの意見を持つことができる。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）						
2	社会保障を学ぶ意義						
3	社会保障の歴史（イギリスなど）						
4	社会保障の歴史（日本：明治、大正、昭和初期）						
5	社会保障の歴史（日本：戦後）						
6	医療保険（医療サービスを保障する仕組み）						
7	医療保険（保険給付）						
8	医療保険（高齢者医療制度）						
9	医療保険（医療提供体制）						
10	介護保険（介護サービスを保障する仕組み）						
11	介護保険（保険給付）						
12	介護保険（介護提供体制）						
13	介護保険（権利擁護）						
14	まとめ（権利としての社会保障）						
15	試験および試験終了後に解説						
予習内容 復習内容	<p>予習：授業計画を参考にテキストを一読し、分からない用語については事前に調べておくこと。          復習：授業で扱ったテキスト該当箇所や配布した資料等をよく見返すこと。</p>						
教科書	<p>【指定テキスト】 椋野美智子ら（2021）『はじめて学ぶ社会保障－福祉を学ぶ人へ』 有斐閣。          【参考文献】 伊藤周平（2021）『社会保障法－権利としての社会保障の再構築に向けて』 自治体研究社。その他、適宜資料を配布します。</p>						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認小テスト：40%（2回実施予定）、試験：60%で総合的に評価する。</li> <li>公欠以外で授業を6回以上欠席した場合、定期試験の受験資格を失う。</li> </ul>						
実務経験	<p>医療機関や在宅介護支援センターなどでソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員）として20年以上の勤務経験あり。</p>						
その他 特記事項	<p>授業は受講者と意見交換をしながら進めるため、主体的な態度での参加を求める。</p>						